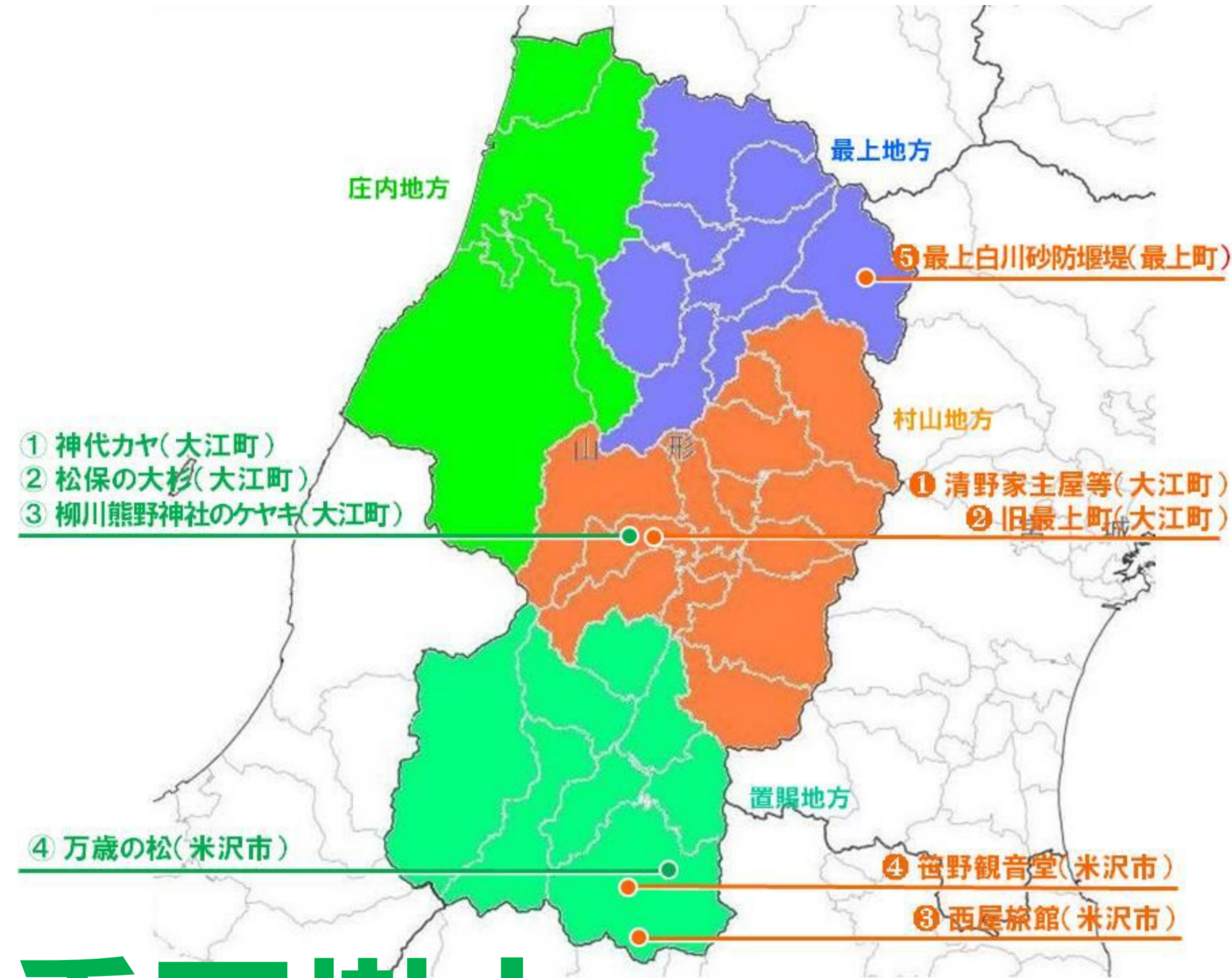


景観重要建造物

「景観重要建造物」とは

地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであるものについて、景観法第19条に基づいて景観行政団体の長が指定するものです。

この指定については、建造物の所有者等が提案することができます。提案されたものについては、「建造物が伝承又は風俗慣習と結びついて、当該建造物が所在する地域において伝統的又は文化的意義を有すること。又は、建造物が連なり地域を象徴する街並みを形成していること」等の要件を満たしているかどうか審査をされたうえで、指定となります。



景観重要樹木

「景観重要樹木」とは

地域の自然、歴史、文化等からみて、樹容が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであるものについて、景観法第28条に基づいて景観行政団体の長が指定するものです。

この指定については、樹木の所有者等が提案することができます。提案されたものについては、「樹木が伝承又は風俗慣習と結びついて当該樹木が所在する地域において伝統的又は文化的意義を有すること。又は樹木が群として存在し地域を象徴する景観を形成していること」等の要件を満たしているかどうか審査をされたうえで、指定となります。

各場所の詳しい情報とアクセス方法については、県のホームページでご覧いただけます。
「やまがたの景観」で検索 <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180032/keikan/yamagatanokeikan.html>



① 清野家主屋、蔵及び築地塀

(大江町景観重要建造物 第1号)



清野家主屋、蔵及び築地塀は、最上川舟運で栄えた町の歴史を今に伝える貴重な建造物です。

江戸後期に建てられ、会津屋という屋号で終戦前まで酒屋を営んでいた原町通り最大級の商家の建物です。木造2階建てで明治期の竣工とされる主屋、大きな鬼瓦を頂く店蔵に加えて、江戸期の竣工とされる土蔵などが並び、歴史的なまちなみを形成しています。(平成20年12月14日指定)
所在地: 大江町大字左沢183番地

② 旧最上橋

(大江町景観重要建造物第2号)(山形県第1号)



旧最上橋は昭和15年の架け橋以来、約60年にわたり、多くの人に利用されて来ました。最上川に映る3連アーチ橋の美しい姿は、大江町のシンボルとして現在も残されています。日本一公園から見る東へ大きく蛇行して流れる最上川と、川面に影を映す眼鏡橋は県内でも有数の景勝地です。(平成21年3月17日指定)
所在地: 大江町大字左沢

③ 西屋旅館

(米沢市景観重要建造物 第1号)



・文政12年(1829年)頃に建築された母屋は、茅葺入母屋造りが印象的な中世の旅館建築で、地域に唯一現存する歴史的に非常に重要なもので、地域の象徴として良好な景観を形成しています。
所在地: 米沢市大字関1527 (平成23年7月5日指定)
所在地: 米沢市大字関1527

④ 笹野観音堂

(米沢市景観重要建造物 第2号)



大同元年(806)に名僧・徳一上人によって中興されたお寺。天保4年に火災に遭い、同14年(1843)に再建されたのが現在のお堂で、大きな茅葺の屋根、精巧な彫刻など、置賜地方では希にみる壮大な建物です。(平成24年6月25日指定)
所在地: 米沢市笹野本町5686-5

⑤ 最上白川砂防堰堤

(山形県景観重要建造物 第2号)



白川の上流部にあり、全長273.0m高さ12.0mと最上町では最大の砂防堰堤です。下流側は水が白い帯のように流れ、上流側の水面に映る景色も美しい。また、ダムに注ぐ溪流も白川渓谷として有名で紅葉時期は特に美しい。付近にはオートキャンプ場や遊歩道が整備された「最上白川溪流公園」があり、溪流釣りのポイントとしても有名です。(平成25年3月19日指定)
所在地: 最上町大字東法田字窓塞

① 神代カヤ

(大江町景観重要樹木 第1号)



カヤの木としては東北一といわれ、樹齢は約1500年になります。近くの「みろく堂」の前にあった大スギ(根まわり8m)と、このカヤの精霊が相連れて伊勢参宮をしたという伝説があり「枯木といえども刃物を入れるな」と伝えられています。(平成20年12月14日指定)
所在地: 大江町大字小新

② 松保の大杉

(大江町景観重要樹木 第2号)



樹齢は約1100年、根周14.7m、直径3.38m。樹冠は円錐形をなして一樹で森を形づくっています。県下のスギでは第1位の巨樹とされています。県指定天然記念物。周囲一帯が山に囲まれた山里に極めて目立つ1本の松保のスギがそびえ立っています。(平成20年12月14日指定)
所在地: 大江町大字小清字松保

③ 柳川熊野神社のケヤキ

(大江町景観重要樹木 第3号)



柳川熊野神社のケヤキは、樹齢が800~1,000年と言われており、通りから目につきやすく地区のランドマークとしての役割を果たしています。(平成20年12月14日指定)
所在地: 大江町大字柳川153番地の10

④ 万歳の松

(米沢市景観重要樹木 第1号)



明治天皇がご巡幸の際、当地で休憩されたことを記念して、明治22年に地元有志によって植えられた老松。樹高13メートル、枝張り約20メートルの赤松。現在整備中の東北中央自動車道の米沢IC(仮称)のランプ内に整備する公園に位置することとなり、樹形・樹高からシンボルとなることが期待されます。(平成22年4月1日指定)
所在地: 米沢市万世町桑山200番1